

やがて人口減少に向かう日本。 国勢調査をこれまで以上に 利用し尽くすことが必要です。



やがて人口減少に向かう日本。
国勢調査をこれまで以上に
利用し尽くすことが必要です。

Interview

舟岡 史雄さん
(信州大学教授)

日本の経済は、ずっと右肩上がりで来ました。そのため国民みんな「昨日あつたことは明日もある」という考え方をする傾向があります。

バブル崩壊の後、景気が低迷したときでさえ、「一時的な落ち込みだろう」と楽観して、泥沼にはまり込んでしまった。あのとき、データを真摯に読み取ることをしていたら、その時点で適切な対策が打てたはずです。

少子・高齢社会となり、日本では、ほどなく人口が減少に向かいます。これも統計によつて分かりています。先進国では初めてのことですから、いわば海駆けて航海して行かなくてはならない。

また、国民の価値観が多様化してきたことで、国政が何をも一括して行う時代は過ぎ、今後は地域や市町村レベルでのきめ細やかな行政サービスが重要です。統計データは世の中を映す鏡です。その鏡が曇つていたら、世の動きを読み取って、処方すべきところは処方すると

世の中を映す鏡



いう政策の基本が実行できなくなってしまいます。

海図なき時代に



社会・経済の根幹をなす人口構造が大きく転換しつつある現在、二〇〇〇年国勢調査では、今まで以上に情報を正確に読み取り、それをデータとして徹底的に利用し尽くすことが、二十一世紀を輝かしいものとするために、ぜひとも必要です。

国勢調査に対して「家族のプライバシーを出したくない」という考え方があるようですが、それは明らかな誤りです。わたしたちが記入した調査票は集計後に溶かして再生紙にされますので、情報が外にもれる心配はありません。でも、理由はそれだけじゃない。権利と義務は、表裏一体のものだとわたしは思います。権利だけ主張して、重要な義務を果たさないのは間違いですよ。国民のプライバシーや権利を守っているのは国家です。その国を支えるための行為である義務をわたしたちが果たさなければ、やがて国家は傾いてしまいます。國を正しい方向に導くには、選挙で適切な政治家を選ぶと同じく、政治や行政に施策を誤らせないための「羅針盤」つまり正確な情報を提供することが、非常に大切なんです。

(談)

正確な「羅針盤」を



新しいALT(外国語)を紹介します



KONICHIWA! My name is Paj Thao, and I am the new ALT. Like John McNulty, I am from America. I was born in Laos and raised in America. Because of this, my native tongue is Hmong. My people, the Hmong, is a minority group originating from China.

In America, I live in Madison. Madison is the capital of Wisconsin. Wisconsin is "America's Dairyland". Similar to Tsukigata-mura, Wisconsin has lots of farmlands.

It has been a pleasure to stroll through Tsukigata Village. I am very honored to live and work in your village. More importantly, I look forward to learning more about the Japanese culture and language. Unfortunately, I can't speak Japanese but please, teach me. Please come and say HELLO (you will likely find me riding on my white bike).

Lastly, I would like to thank my homestay families for allowing me the opportunity to experience Japanese home. Last but not least, thanks to those who have gone out of their way to help me with my everyday needs. ARIGATO GOZAIMASU!

パ・タオさん
Paj Thao from America

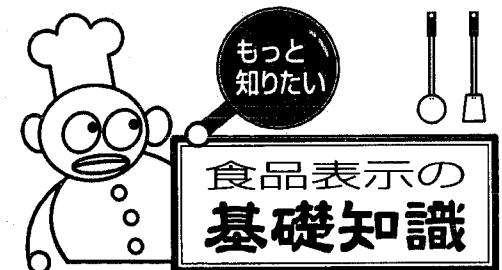
こんにちは、私は新しい外国語指導助手のパ・タオです。前任のジョン・マクナリティと同じくアメリカから来ました。私はラオスで生まれ、アメリカで育ちました。ですから、母国語はモンゴル語です。モンゴル族は中国から出た少数民族です。

アメリカのマディソンに住んでいます。マディソンはウィスコンシン州の州都です。ウィスコンシンはアメリカの酪農地帯です。月潟村と同じように農場が広がっています。だから月潟村を歩き回って、とても嬉しく思いました。私は皆さんの村に住めること、仕事ができることを誇りに感じています。

今一番やりたいことは、日本語と日本文化を学ぶことです。残念なことに日本語が話せません、日本語を教えてください。白い自転車に乗った私を見つけたら、そばに来て「ハロー」と声をかけてください。

最後に、私を数日間ホームステイさせていただいた家族の方にお礼を言わせていただきます。日本の家庭を経験させていただき、また、いろいろな面でお世話をいただき、本当にありがとうございました。

有機食品(オーガニック) の基準とは?



有機栽培〇〇、有機〇〇、オーガニック〇〇……。消費者の食品安全に対する関心が高まるなか、「有機」「オーガニック」の食品が注目されています。

有機／オーガニックとは、たい肥などによる土づくりを行い、農薬や化学肥料などを使わないことを基本とした栽培方法のこと。

農林水産省では、もう少し具体的に、「3年以上、化学肥料や農薬などが使用されていない農地で収穫された農産物であること」など、有機／オーガニックの基準(有機農産物及び特別栽培農産物に係るガイドライン)を定めています。

しかし、これまでの「有機」表示は、国の基準に基づいて生産者自らが表示をする「自己申告制」であったため、その食品が本当に

登録された第三者機関(登録認定機関)の認定を受けなければなりません。「有機」の表示ができるのは、認定を受けた生産農家が自ら格付し(注)、有機JASマークが付けられたものだけです。

有機農産物のJAS規格は、輸入食品および有機農産物加工食品についても適用されます。

- | |
|---|
| ・化学肥料や農薬などを使わないことを基本とした栽培方法である |
| ・一定期間以上、農薬や化学肥料を使用しない農地での栽培 |
| ・種苗は原則として有機栽培による種苗であり、遺伝子組み換え技術を使用していない |
| ・病害虫防止や殺菌、保存など衛生目的での放射線照射、またはポストハーベストが行われていない |
| ・原料の95%以上が有機農産物である |
| ・原料に遺伝子組み換え農産物を含まない |
| ・定められた食品添加物を除き、化学的なものを使っていない |

(注) 有機食品の格付とは当該食品が有機食品または有機農産物加工食品のJAS規格に適合しているかどうかを検査し、その結果、JAS規格に適合していることをいう。

取材協力：農林水産省